

平成26年度

# 国民健康保険報告書

京都府八幡市



## 平成26年度 八幡市国民健康保険の概要

平成26年度における八幡市国民健康保険の決算は、歳入総額87億4,999万7千円、歳出総額89億8,053万5千円で2億3,053万8千円の不足額が生じ、平成16年度から引き続いて平成26年度も翌年度の会計から繰上充用する結果となりました。

歳入では、平成25年度と比較した主な内容は、保険料が料率の改定に伴い現年度分と過年度分を合わせて7,277万6千円増加しました。国庫支出金では2億3,237万円増加しましたが、その主な内訳として、療養給付費負担金が1億5,603万1千円増加、調整交付金が7,382万6千円の増加となっています。交付金等については、退職者医療制度に係る療養給付費交付金が対象者の減少により2億3,684万2千円の減少となりましたが、65歳から74歳までの前期高齢者の加入数に応じて調整される前期高齢者交付金では1億5,993万9千円の増加となりました。また、共同事業交付金では1億1,447万4千円の増加となり、交付金全体では3,757万1千円増加しました。府支出金では調整交付金が4,310万8千円の増加、繰入金では低所得者の保険料軽減措置の制度拡充に伴い、保険基盤安定分が6,194万3千円増加したほか、臨時特例繰入れとして、引き続き保険料率の大幅な引き上げを抑制するための激変緩和策として6千万円や歳出における保険給付費の急激な伸びに合わせた1億円の繰入れなどにより、繰入金全体では1億914万4千円増加するなど、歳入総額では87億4,999万7千円となり、対前年度5億1,320万7千円増加で、率にして6.23%増加しました。

歳出では、平成25年度と比較して保険給付費全体で3億3,376万9千円の増加、主な内訳は療養諸費が2億6,541万6千円増加、高額療養費が6,762万1千円増加しています。拠出金等全体については5,797万6千円増加しましたが、主な内訳として75歳以上の人の後期高齢者医療制度への支援金等が2,020万9千円増加、介護納付金が744万円の増加、共同事業拠出金が3,059万7千円の増加となっています。その他、保健事業費が729万5千円の増加、諸支出金が4,404万4千円の増加、前年度繰上充用金が1,203万7千円の減少となるなど、歳出全体では89億8,053万5千円となり、対前年度4億2,686万2千円増加で、率にして4.99%増加しました。

国民健康保険財政の健全化を図るため、平成26年度は後発医薬品利用差額通知事業を継続的に取り組むとともに、人間ドック・脳ドック事業をさらに拡充するなど、被保険者の負担軽減や健康増進、保険者として医療費の抑制に資する保健事業に重点を置いて取り組みを進めてきました。また、保険料の収納においては引き続き収納率向上対策の取り組みを進め、より一層の充実を図っています。

国民健康保険を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、今後とも収納率の向上はもとより、適用の適正化、給付の適正化、保健事業の一層の推進を図るとともに、国に対して国費の投入などによる財政構造の見直しについて引き続き要望していきます。

1. 市 内 医 療 機 関	1
2. 加 入 状 況	1
3. 年 度 別 ・ 月 別 保 険 給 付 状 況	4
4. 療 養 の 給 付 諸 率	8
5. 総 医 療 費 に 対 す る 種 別 割 合	10
6. 総 医 療 費 に 対 す る 負 担 割 合	11
7. 年 齢 階 層 別 に み た 疾 病 分 類 別 ・ 一 件 当 た り の 診 療 費	12
8. 高 額 療 養 費 支 給 決 定 状 況	14
9. 高 額 医 療 費 共 同 事 業 状 況	14
10. 保 険 財 政 共 同 安 定 化 事 業 状 況	14
11. 地 方 単 独 事 業 に 係 る 福 祉 医 療 費 の 状 況	14
12. 診 療 報 酬 明 細 書 点 検 実 施 状 況	15
13. 経 理 状 況	16

#### <参考資料>

1. 国 保 事 業 の 変 革	18
2. 医 療 費 の 動 き	26
3. 国 民 健 康 保 険 事 務 機 構 図	28
4. 運 営 協 議 会	29
5. 総 収 入 の 財 源 構 成	30
6. 年 度 別 決 算 状 況	31
7. 保 険 料 の 状 況	32
8. 単 年 度 収 支 の 状 況	34